

## 正誤表

このたびは、弊社刊『大学入試 山川喜輝の生物が面白いほどわかる本』（第1刷）の記述につき、誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

(2023年8月8日更新)

ページ			誤	正
p.63	下の図	(*2か所)	抗体A	抗原A
p.63	下の図	(*2か所)	抗体B	抗原B
p.123	下の図		【NADH+H+】 【電子伝達系】	【NADH+H+】 → 【電子伝達系】
p.150		下から8行目	還元力	酸化力
p.157	図		葉緑体のストマ	葉緑体のストロマ
p.166	図		G (グアニン) の水素結合「C」	G (グアニン) の水素結合「O」
p.167		下から3行目	(エ)	(オ)
p.180		下から2行目	②塩基除去修復	②ヌクレオチド除去修復
p.181		図中フキダシ	酸素によって切り出される。	酵素によって切り出される。
p.199	中段の図		付加	挿入
p.213		5行目	触覚	触角
p.214		5行目	プロメーター	プロモーター
p.224	中段の図	下の並び	「A T G C (A)」	「A T G T C (A)」
p.240		(1) 1行目	優性生殖	有性生殖
p.299	(4)上の図	やくの下の花粉母細胞	A	AA
p.327	参考	1行目	ルビ「わらんかん」	ルビ「ゆらんかん」
p.335	中段の図		オーガナイガー	オーガナイザー
p.338		4行目	原器分布図	原基分布図

p.339		下から 3 行目	原器分布図	原 <b>基</b> 分布図
p.346	下の図	「ショウジョウバエ」	abb-A abb-B	abd-A abd-B
p.349		(4) 2 行目	外側の細胞層は胎盤を、内部細胞塊は胎児になる	外側の細胞層は胎盤 <b>に</b> 、内部細胞塊は胎児に <b>分化する</b>
p.353	図	右上の花粉管		上にある花粉管核（・）を削除
p.376	図		視経系	視 <b>神経</b>
p.410	中段左図		Ca <sup>2-</sup>	Ca <sup>2+</sup>
p.421	右下の図		頭の方から	頭の方 <b>が</b>
p.448		下から 3 行目	フォトロピズム	フォト <b>ト</b> ロピズム
p.484		3 行目	同種	<b>両</b> 種
p.525	図	右側の矢印	2200 年前	2200 <b>万</b> 年前
p.531		下から 3 行目	ルビ「てきおうかくさん」	ルビ「てきおう <b>ほう</b> さん」
p.543		下から 7 行目	コクホウ <b>ク</b> ジャク	コクホウジャク
p.585		吹き出し	トコロフォア	ト <b>ロコ</b> フォア